

[月刊]

2009. AUG

平成21年8月10日

岩手よもっと
元気になれ!

(財)いわて産業振興センター広報誌

Vol.

89

産業情報 いわて



CLOSEUP
岩手力!

株式会社サンセイイサワ支社

工程改善研修会参加企業

募集

合同商談会 北上会場 参加企業募集

いわて起業家大学 開講

いわて知的財産権セミナー2009

お知らせ

いわてビジネスプラングランプリ/下請かけこみ寺

いわて組込み技術研究会/毎月勤労統計調査/3県商談会開催報告

国際シンポジウム ~生体用コバルト合金の研究開発動向と将来展望~

GLOSEUP

岩手力!

工程改善研修会参加企業

株式会社サンセイ イサワ支社



新工場に導入された新鋭機の数々。ドイツ製の3次元座標測定器。ミクロン単位で製品の精度を図る。価格は数千万円と、製造装置を凌ぐという

大不況のまっただ中、
あえて新工場を稼動。
高精度金型部品製造で
生き残りをかける。

東京・大田区のものづくり集団のこだわりの技術が岩手県の一工場に受け継がれた。これを担うのはすべて地元採用の若き精鋭たち。彼らは今、ものづくり技術に加え、自らの心の部分にも磨きをかけようと動き始めた。

嵐の中、新工場が船出

今年(平成21年)1月5日、サンセイ イサワ支社の新工場が稼動を始めた。医療、電子機器など高精度製品の部品を生み出す金型の精密加工専用工場だ。

新工場建設は1年前から計画されていた。ところがその途中、米国発の世界大不況に見舞われ、一時は工場建設中止、設備導入キャンセルも検討された。このとき、中西美伊子代表取締役からゲキが飛んだ。「本当にやる気があるなら新年から操業するように。1日も早く立ち上げて1本でも多くモノをつくるように」。

不況の折り、設備会社は早々に正月休みに入ろうというところを懇願して設備を入れ、新年仕事始めの稼動に間に合わせた。

「新工場でできた加工サンプルを持って営業に回りますと、この不況のさ中、こんな設備を入れたの、と驚かれます。今までの我々のレベルでは対応できなくてお断りしていた仕事も、新しい設備によってできるようになり、それならばと受注に結びつくようにもなりました」(田中社長)

新工場のゴーサインを出した中西美伊子代表取締役は創業者中西由松氏(故人)夫人。長く舞台裏から経営を支えてきた人で、今も社内で表舞台に立つことはほとんど無いが、重役たちには創業者譲りの芯の強い経営方針を指し示すという。

新工場には1ミクロンの精度を可能にする放電加工機や研削盤を設備、合わせて3次元座標測定器を導入して技術の高さを確かなものにする。これまで標準規格品を中心に生産してきた同社が「特注部品」を前面に出し、次代に向けて大きく舵をとることになる工場だ。これが大田区的発想。

ただ、新工場と従来生産ラインとを新旧の視点で位置付けているわけではない。言わば役割分担。長年培ってきた標準規格品がまだまだ稼ぎ頭であることに違いはない。

「新旧工場に変な差がついてはいけない。常にものづくりに対する前向きな気持ちを持って、みんなが1ミクロンの仕事をしたいという気持ちを持ってほしいと思います」(田中社長)

東京・大田区ものづくり魂

サンセイの前身、有限会社三西自動機研究所は昭和42年2月、日本の工業ものづくり産業の故郷とも言うべき東京・大田区に創業した。

1万種類にもおよぶ標準化部品を紹介するカタログ





ワイヤー放電加工機



プロファイル研削盤



精密加工専用機とオペレーターの操作技術から生み出される特注部品がこれからのメイン商品になっていく

創業者中西由松氏は三重県松坂の出身で「頑固一徹、全身がものづくりみたいな人だった」（田中社長）。アイデアマンであり技術者としての強いこだわりを持った人で、金型部品の標準規格化、カタログ販売という当時の業界の流れを受けて三西自動機研究所を設立、「プレス自動送り装置」の特許をとって国際見本市などにも出展した。

三西自動機研究所より先、三松製作所を興してソニーの前身、東京通信工業のプレス加工品を製造。下請け上位五指に入る工場だったが、ソニーが海外に打って出たとき、一緒に行かないか、と言われた際も「大田区のものづくりが外国に行ってしまう」と頑としてソニーの誘いを断ったという逸話が残っている。

また、最期の病床にあって田中社長を呼び寄せ、「機械は動いているか。来年はどのような機械を買うのだ」と質したという。ものづくり一筋だった技術者の一面を伝えるエピソードだ。

現田中社長も安倍工場長も中西会長の強い影響を受けている。東京・大田区のものづくり精神が岩手の地に受け継がれているというわけだ。

工程改善、人間を磨く

イサワ支社は昭和63年、株式会社サンセイ イサワという別会社で設立された。



イサワ支社取締役工場長の安倍由和さん。技術のリーダーから工程改善のリーダーへと変身中

地元のためにという中西会長の考えによるものだった。その代り、従業員もすべて地元で採用するようにと。現安倍工場長など「全くの素人」数名が本社に赴き、研修を受けて新会社を立ち上げた。以後、本社に追いつけ追い越せをスローガンにひたすら技術の向上を目指した。

「ふと振り返ってみると管理者が育っていない。ISOと言われても何のことかわからないという状態でした」（安倍工場長）

そうした折り、いわて産業振興センターの工程改善研修会に誘いを受け「改善」への取り組みが始まった。まずは清掃、整理整頓からという状況だったという。

現在は、改善、エコアクション、掲示物管理の3つの委員会を設け、それぞれ役職とは関係ない「元気な人」をリーダーに選抜して全社的に活動を展開している。

「どんなにいい機械を入れたって人間が三流ではいい製品はできない。機械もいいけどサンセイは仕事が凄いいねって言われたい。そういう思いで社員にもハッパをかけていきます」（田中社長）

企業概要

- 創立 1988年8月（イサワ支社）
本社創業は1967年（有限会社三西自動機研究所＝当時）
- 代表取締役会長 中西美伊子
- 取締役社長 田中和男
- 資本金 5,000万円
- 事業内容
プレス金型部品の製作・販売
- 従業員数 75名（イサワ支社）
- 所在地
奥州市胆沢区小山字中油地119
電話 0197-47-2020
- 本社・工場
神奈川県厚木市下川入205-3
電話 046-245-5111

URL <http://www.sansei.com>

今月の表紙／写真左から、成形研削担当の遠藤一志さん、切削担当の小野寺勝行さん、研削担当の佐々木冬樹さん、営業の佐々木浩子さんと阿部元樹さん。男性4人はいずれも2級技能士のライセンス保持者。イサワ支社は生産主体の工場だが営業スタッフを置き、対顧客営業のほか生産管理的な業務も担う。皆さん、胆沢平野の水で育った元氣な奥州っ子だ。

社長プロフィール／田中和男

昭和32年生まれ。創業者・中西由松氏の薫陶を受け、東京・大田区のものづくり魂を次代を担う技術者たちの心に吹き込む。ミクロン単位の高い精度の技術領域に厳しい視線を向けながら、一方で「まず一社会人たれ」と技術者たちを戒める。自らは営業色の強い社長として新技術の売り込みに余念がない。神奈川の本社から車を駆ってイサワ支社に駆けつけ、所用を済ませるとそのまま東北各地の得意先に向かうという行動派。



平成21年度 合同商談会

北上会場 参加企業募集

当センターでは、毎年取引拡大をめざす県内外の受・発注企業の皆様が、一同に会して商談及び相互交流を行う場を提供しております。本年度は下記のとおり開催の予定ですので、今後の新規取引開拓、情報収集、人的ネットワーク形成のためにも積極的に参加されますようご案内いたします。

期 日 平成21年10月22日(木)

スケジュール 11:30~12:40 受付
12:40~13:00 開会/商談方法説明
13:00~17:30 受発注企業による面接商談
17:40~19:30 懇親会(希望者のみ)

会 場 ホテルシティプラザ北上(北上市川岸1-14-1 TEL 0197-64-0001)

参 加 対 象 県内外のセンター登録企業
(casting, 鉄骨・製缶, 機械加工, 板金, プレス, 樹脂, 表面処理, 電子機器, 金属材料商社等)

定 員 発注企業50社 受注企業150社

参 加 料 商談会 1名につき 5,000円
懇親会 1名につき 6,000円
※発注企業として参加の場合は、商談会・懇親会とも無料

申 込 方 法 今月号の広報誌に添付した参加申込書に必要事項を記入の上、下記申込先へFAXし、同時に参加料等該当額をセンター名義の口座へお振り込みください。
なお、商談会当日の参加申込は、受付いたしかねますのでご了承願います。
※参加申込をされた場合は、必ずセンターに受付確認の電話を入れてください。

申 込 先 (財)いわて産業振興センター 育成支援グループ
TEL 019-631-3822 FAX 019-631-3830
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2

参加料等振込先 東北銀行本店 普通預金口座 No 234155
口座名義 (財)いわて産業振興センター

申 込 締 切 受注企業としての参加 平成21年8月28日(金)
発注企業としての参加 平成21年9月11日(金)

※申込締切前に定員に達した場合、参加をお断りすることになりますので、予め承知置き願います。

◆商談会参加者で、ホテルシティプラザ北上へ宿泊を希望される方は、各自、事前に直接ホテルへ申込願います。申込の際、「商談会参加者」である旨、申し出ると「特別価格 1泊朝食付7,140円(税・サービス料含む)」で宿泊できます。その際、喫煙・禁煙についても併せて申し出ください。

お問い合わせ先 (財)いわて産業振興センター 育成支援グループ/取引支援担当
TEL 019-631-3822 FAX 019-631-3830
E-mail : sitauke@joho-iwate.or.jp

9月 募集開始

10月開講

「いわて起業家大学」を開講

起業を目指す方、新事業・新分野進出を目指す方
自立型人材の養成を目指す講座を開催します。

仕事を楽しみ・感動を得られる姿勢としての「起業家精神の醸成」や「事業計画書の作成」を通じた相互支援ネットワーク形成、夢の実現のための「プレゼンテーション力の養成」など具体的な起業スキルを学びます。

◆主催

(財)いわて産業振興センター・岩手県立大学(予定)

◆講師 (株)アントレプレナーセンター 福島正伸氏

◆定員 50名

◆対象 起業を目指す方、起業間もない方、事業後継者、新事業・新分野進出を目指す方

◆受講料 無料

◆その他 全講習の3分の2以上の受講者は、いわて起業家育成資金の推薦要件となります。

詳しい内容とお問い合わせ先

育成支援グループ 担当/石村

TEL 019-631-3822 E-mail : joho@joho-iwate.or.jp

◆日程及び会場

公開講座	10月30日(金)	釜石市
	10月31日(土)	二戸市
	12月 2日(水)	盛岡市
講座	① 12月16日(水)	盛岡市
	② 1月18日(月)	二戸市
	③ 1月27日(水)	盛岡市
	④ 2月 2日(火)	二戸市
	⑤ 2月10日(水)	釜石市
	⑥ 2月24日(水)	盛岡市
	⑦最終回 ビジネスプラン発表会	3月 6日(土) 盛岡市

「青森・秋田・岩手3県合同商談会」を開催しました



熱心な商談が行われました

当センターでは、7月14日(火)東京の浜松町にある東京都立産業貿易センター浜松町館を会場に、北東北3県の(財)21あおもり産業総合支援センター及び(財)あきた企業活性化センターとの共催で標記商談会を開催しました。

この商談会は、関東地区の発注企業から41社61名と、青森・秋田・岩手県内のそれぞれに特色を持つ受注企業の151社225名が一堂に会して、個別商談や情報交換等をしていただいたもので、厳しい経済環境のなか、発注側も受注側も本当に真剣で熱心な商談が行われました。

今回の商談会に参加していただきました受発注企業の皆様に感謝申し上げますとともに、商談等の進展をお祈りします。

参加企業

関東地区の発注企業……41社 青森県からの参加企業……32社
秋田県からの参加企業……52社 本県からの参加企業……67社

担当 育成支援グループ TEL 019-631-3822 FAX 019-631-3830

下請 かけこみ寺

取引上の困りごと、なんでもご相談ください

弁護士無料相談実施中!

かけこみ寺・移動相談所 (8・9月の開催予定)

【一関会場】(財)岩手県南技術研究センター	8月11日(火)	13:00~15:00
【宮古会場】宮古地方振興局	8月26日(水)	10:30~13:00
【釜石会場】(財)釜石・大槌地域産業育成センター	9月 8日(火)	13:00~15:00
【大船渡会場】大船渡商工会議所	9月 9日(水)	10:00~12:00
【二戸会場】二戸広域観光物産センターなにゃーと3階	9月16日(水)	13:00~15:00
【久慈会場】久慈商工会議所	9月17日(木)	10:00~12:00

下請かけこみ寺相談、弁護士無料相談のお問い合わせ先

育成支援グループ 担当/伊藤・村上 TEL 019-631-3822 E-mail : joho@joho-iwate.or.jp

いわて知的財産権セミナー 2009 開催のご案内

知的財産の普及及び知的財産の保護と活用を促進するため、昨年に引き続き「いわて知的財産権セミナー」を開催します。受講料は無料です。



昨年の知的財産権セミナーの様子

特許情報活用コース・商標情報活用コース

【対象】 初級者 【講師】 中嶋孝弘 特許情報活用支援アドバイザー
 【日時】 未定 【場所】 県内各地

中級コース

【対象】 経営者・研究開発者・実務者

講座名	内容（予定）	日時・場所	定員
審査に強い特許明細書 ～アイデアの着想から特許権まで～ 講師／弁理士 的場成夫	<ul style="list-style-type: none"> アイデアの着想 発明提案書作成・明細書の役割と作成上の要件・審査基準 拒絶理由通知に対する対応 	9月4日(金) 13:30～17:00 岩手県工業技術センター 小ホール	40名
商標のトラブルを防ぐために ～日本・中国でのブランド戦略の留意点～ 講師／弁理士 菅原 修	<ul style="list-style-type: none"> 商標制度概要・商標の権利の及び範囲・中国でのブランド確保の留意点・最近の判例事例・最近の事業者、自治体、国の動き 	9月18日(金) 13:30～17:00 岩手県工業技術センター 小ホール	40名
著作権 ～ビジネスでの留意点～ 講師／弁理士 中川裕幸	<ul style="list-style-type: none"> 著作権制度の概要 ホームページにおける留意事項 出版物作成・引用における留意事項 プログラムにおける留意事項 他人の著作物を利用するには 権利侵害の実例 	10月2日(金) 13:30～17:00 岩手県工業技術センター 小ホール	40名

経営者コース

【対象】 経営者・創業者・実務者・県・市町村・商工団体・農林水産団体等職員

講座名	内容（予定）	日時・場所	定員
知財の経営戦略への活かし方 講師／弁理士	<ul style="list-style-type: none"> 知財の上手な活用方法（良い使い方、悪い使い方） ブランド戦略 事例 	時期／いわて特許ビジネス マッチングフェアと同時開催 場所／未定	未定

お問い合わせ・お申し込み先

(財)いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ 担当／山根 TEL 019-631-3825
 岩手県工業技術センター TEL 019-635-1115

毎月勤労統計調査特別調査についてのお願い

厚生労働省では、本年7月31日現在で、常用労働者を1人から4人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、1～4人規模事業所における賃金、労働時間および労働者数の動向を都道府県別に明らかにするなどの目的をもつ大切な調査です。

調査対象となる事業所には、8月から9月にかけて統計調査員が訪問して調査票を作成いたします。

調査票に書かれた事柄は、「統計法」により、厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることは禁じられています。

ご多忙のこととは存じますが、調査へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

厚生労働省

産学官の実務者が参加する いわて組込み技術研究会

岩手県内陸部の北上川流域地域には自動車・半導体・電気機械関連の企業が、県央の盛岡市周辺にはIT関連企業が多く立地しています。

ここ数年組込み分野への参入を志向する企業が増える一方で、IT関連企業同士横の繋がりは決して緊密ではありませんでした。

そこで、個々のポテンシャルを結び、相乗効果を生み出すことにより、本県全体の組込みソフトウェア関連の競争力強化を図ることを意図して、平成18年10月「いわて組込み技術研究会」を設立しました。

会長には岩手県立大学組込技術研究所の曾我正和所長が就任し、事務局を財団法人いわて産業振興センターが担当しております。IT関連企業、電子系製造業約30社をはじめ、産学官から実務者が参加する実働的なネットワーク組織です。

最近では会員企業同士で取引が成約するなど少しずつ成果が出てきております。

研究会は2ヶ月に1回のペースで開催しており、講師をお招きしての講演、最新の組込み技術・市場動向等の情報提供、県内産学官機関の組込み関連情報の相互交流、会員企業の紹介等を行っているほか、技術セミナーとして、組込みソフトものづくり塾（マイクロカーネル制作体験コース）、Matlab講習会、UML講習会を実施いたします。

また、組込み総合技術展に過去3年間出展しており、今年も県内企業と一緒に出展いたします。

「いわて組込み技術研究会」の年会費・参加料は無料です。

ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先

いわて組込み技術研究会事務局（財）いわて産業振興センター 育成支援グループ 担当／三上
TEL 019-631-3823 FAX 019-631-3830



平成21年度 第1回研究会の様子

国際シンポジウム ～生体用コバルト合金の研究開発動向と将来展望～

岩手県では、平成16年度から文部科学省の委託事業である「都市エリア産学官連携促進事業」により、人工関節等の医療機器への適用を目指したコバルト合金の高付加価値化研究に取組み、耐摩耗特性に優れ、Niの実質無害化、磁化率を低減した各種コバルト合金を創成し、更に平成19年度からは、その研究成果を事業化につなげるために、閉塞鍛造技術による人工股関節のネットシェイプ加工技術の開発、耐摩耗特性に優れたメタルオンメタル型人工股関節の開発等に取組んでおります。

高齢化社会が進むにつれ、メタルオンメタル型人工股関節の需要が伸びることが予想されるなど、生体用金属材料としてのコバルト合金が再評価されてきているところですが、今回、国内外におけるコバルト合金に関する研究取組状況、またメタルオンメタル型人工股関節の将来展望等について、広く企業、研究者等の皆様に紹介するために国際シンポジウムを開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 平成21年9月4日（金） 13:00～19:30

【場所】 ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING（4F）

メトロポリタンホール東（交流会：メトロポリタンホール西）

盛岡市盛岡駅前北通2-27 TEL：019-625-1211（大代表）

【内容】 コバルト合金の摺動性に関する研究の第一人者であるネブラスカ大学のHani Haider氏等、国内外の研究者からコバルト合金の研究開発等に関する最新動向について講演いただきます。

【参加費】 無料（ただし、交流会にご参加の方は会費3,000円を頂戴いたします）

【お申し込み・お問い合わせ先】

新事業・研究開発支援グループ 担当／菊池・高舘

TEL 019-631-3827

第5回 いわてビジネスプラングランプリ 応募者募集

（財）いわて産業振興センターでは、新たな事業の創出とその発展を図るため、第5回いわてビジネスプラングランプリを開催します。

当グランプリは、中小企業やベンチャー企業の支援、創業・経営革新などの新事業活動を促進するため、新しい独自のビジネスプランを募集いたします。新規・独自性、市場性、社会貢献度等を評価し審査の結果、優秀と認められるビジネスプランを発表された方に部門ごとにグランプリとして50万円を助成し、ビジネスプラン実現に向けバックアップします。

なお、今年度は従来からの「スタートアップ部門」と「イノベーション部門」に加えて「高校生部門」を新設し、若年層の創業・新事業創造の機運を醸成することとしております。

第3回大会の「イノベーション部門」において、グランプリに輝きました（株）伊藤工作所様は、この度、経済産業省より「2009年元気なモノ作り中小企業300社」にも選定されています。「モノ作りを通じ地域経済において重要な役割を担っている小規模企業や、社会的課題解決に役立つ製品を作っている小規模企業など」を、「キラリと光るモノ作り小規模企業」として選定され、感謝状が授与されたもので、第3回大会にてビジネスプランとして発表された『乳牛酪農作業の中でも過酷な排泄物清掃の省力化を目的として新開発した「乳牛排泄物清掃装置」の普及と牛舎ごとの効率化改良、機器製造事業』が高く評価されました。

（株）伊藤工作所様は、いまや、九州地区への販路も開拓され、日本各地への納付実績がございます。今後は、世界を目指して羽ばたくことも期待されています。

ぜひ、皆様も（株）伊藤工作所様に続くべく、いわてビジネスプラングランプリ受賞を目指してみませんか。奮ってのご応募、お待ちしております！



熊本県のお客様にも好評のダングレクリーナー



感謝状贈呈式 伊藤達也専務(左)



第5回いわてビジネスプラングランプリ URL : <http://www.joho-iwate.or.jp/lbg/H21/lbg-5.htm>

（株）伊藤工作所様HP URL : <http://itou-kousakusho.hp.infoseek.co.jp/>



スタッフからひと言

障がい者工賃 引き上げ支援事業

総合支援グループ
高橋 尉

もちろん、作業を行う方々は、できる範囲で行います。事業所が無理強いをする必要はありません。

ただし、作業を行っても赤字になっては意味がありませんので、どう工夫を行うかにあたって、施設の担当者と、派遣したコンサルタントの知恵を結集させることが重要となります。そしてもっとも重要なのは、当然障がい者の方々の「パワー」にはかなりません。

今後も当センターではこの事業に取り組み、障がい者の方々の生活向上をお手伝いしていきたいと考えています。

当センターでは、「障がい者工賃引き上げ支援事業」を、平成19年度より県から受託、実施しております。

この事業は、県内で勤労に携わる障がい者の方々へ支給される工賃の引き上げを支援するため、就労継続支援B型事業所や授産施設等に対し、経営コンサルタント等を派遣するものです。

作業に携わる方々は、成果に応じた対価（工賃）を得ます。モノ・サービスが売ればそれだけ対価も上がり、障がい者の方々が、より充実した生活を送れるようになる、というのがねらいです。

福祉分野に対し、経済的視点を持ち込むことに対しては「作業を無理強いすることになるのでは」など抵抗感を抱く方も多ようです。

しかし考え方を変えれば、これまでは社会の隅に追いやられがちであった方々がより社会参加するきっかけにもなるわけです。「受益する」側から、「人に利益を与える」側になることで、より潤いのある生活を送れるようになれば、これほど素晴らしいことはありません。